

令和元年度第4回佐倉市行政評価懇話会 要録

日時	令和2年2月5日（水）13時30分～15時40分		場所	議会棟第四委員会室
出席者	委員出席者 6名 [副委員長]大野 直道 [委員]川上 いづみ、笹井 万里恵、高橋 義和、藤本 健太郎、古本 賢隆(五十音順) ※ 欠席者1名 [委員長]武藤 博己			
	事務局	(企画政策部) 岩井部長、和田企画政策課長、齊藤主査、内藤主査補		
	その他	傍聴0名		
議題	(1) 行政評価に関する提言書（案）について (2) 第2期佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する報告について (3) 今後のスケジュールについて			
概要	◆ 提言書（案）について委員間で意見交換が行われた。 ◆ 第2期佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について市からの報告の後、質疑・意見交換が行われた。			
内 容				
委員7名のうち6名の出席があったことから佐倉市行政評価懇話会設置要綱第6条第2項の規定（委員の二分の一以上の出席がなければ会議を開くことができない）により、会議開催の定数を満たしたことから会議は成立した。なお、武藤委員長が病欠のため、同要綱第5条3項の規定により、大野副委員長によって議事が進行された。				
【(1) 行政評価に関する提言書（案）について】 <施策・指標に関する評価>				
(1) 災害に備えた体制整備・支援（指標名：防災行政無線設置数） (委員) 昨年の台風第15号、第19号、10月25日の大雨による被害対策は、市民生活において最も重要な課題。今後とも市民の安全・安心に向けてよろしくお願ひしたい。				
(2) 災害に備えた体制整備・支援（指標名：自主防災組織の団体数） (委員) 市による内部評価の「要因分析・評価」欄において、目標達成に至らなかった理由の一つとして「・・・自主防災組織の役割を自治会等が担っているなどが要因と考えられる」とある。しかし、自治会が担っていることが自主防災組織の増えない理由にはならないのではないかと。むしろ自治会が自主防災組織を整備する際の下地になっている場合が多いのではないかと。				
(3) 企業誘致の推進（指標名：工業団地等において新規に誘致した企業数） (委員) 内部評価の「改善策」欄において「本市は首都圏内にあり・・・」とある。首都圏の範囲は広い。佐倉市の立地優位性を的確に表現していただきたい。				
(4) 観光客誘致のための取組みの実施（指標名：イベント来場者満足度） (委員) 外部評価の「改善に向けた提言」欄に「花は時期が重要」とある。「花」ではなく「花き（切り花、花木類、球根類等）」の方が観賞用に供される植物を示す表現として適切であるため修正いただきたい。				
(5) 歴史文化遺産を活かした来訪者の増加（指標名：旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の年間合計入館者数） (委員) 「達成率」欄が「初期値を下回った」と記載されている。どれくらい下回ったのか数値で記述できないか検討願う。この指標に限らず、初期値を下回った度合の違いを確認することも大切であ				

る。僅かに達しなかった指標と、かなり下回ってしまった指標が、同一の言葉で括られてしまうことは、政策評価としては不十分ではないか。

(6) 転入促進や転出抑制につながる住宅施策の実施（指標名：空き家バンクの累計登録数）
特段の修正意見等なし。

(7) 良好な景観の地域づくりの推進（指標名：市民の景観団体への技術的支援）
（委員）達成状況について、景観形成協議会が増加しているように捉えられる。累計値などの表現を工夫してほしい。

(8) 保育園待機児童の解消（指標名：保育園待機児童数）
（委員）令和元年度の達成状況が空欄になっている。定員数に対する現状の申込数を欄外に記載するなど、空欄にしないよう記述を工夫してほしい。

(9) 安心して子育てできる地域づくり（指標名：ファミリーサポートセンター事業における提供会員）
特段の修正意見等なし。

(10) 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる体制整備（指標名：介護予防事業の認知度）
（委員）外部評価の「理由」欄で「・・・多様な情報発信が必要だと考えられる」とある。「だ」を削除し「・・・多様な情報発信が必要と考えられる」として、文章の統一を図られたい。

(11) 健康のまち佐倉の推進（指標名：特定健診の受診率）
（委員）令和元年度の達成状況が空欄になっている。できるだけ空欄を埋められるよう記載を工夫してほしい。

(12) 地域のまちづくり・コミュニティ活動の環境整備（指標名：佐倉市市民公益活動サポートセンターへの登録団体数）
特段の修正意見等なし。

(13) 地域のまちづくり・コミュニティ活動の環境整備（指標名：地域まちづくり事業実施団体の設立数）
特段の修正意見等なし。

<総合戦略全体の総括的評価>

（委員）現委員の任期で、達成が不十分な施策・指標の全てを評価することができた。しかし、総括的な評価をする場合、本来は達成状況が良い指標も評価する必要がある。成果と課題を総括する必要があると思うが、今回、総括的評価としてまとめる場合、次期委員による懇話会では現在の第1期総合戦略を総括的に評価しないのか。

（事務局）来年度の懇話会の進め方については現時点では未定。仮に、次期委員が現在の第1期総合戦略を評価する場合は、今回の総括的評価を次期委員に報告し、これまでの検討経過等を引き継いでもらったうえで、評価していただくなどが考えられる。

（委員）現総合戦略の最終年度は評価ができていない。次期委員による懇話会では最終年度を評価していただきたい。

（委員）数値目標を設定していることから、全指標について、その達成度合いを数値で明らかにする必要があるのではないか。

<全体的に>

（委員）本日の修正意見と、それに対する対応を整理し、次回の懇話会で示してほしい。次回の懇談会

では、基本的に、本日の議論を踏まえて修正、追記したところについて報告を受け、提言書として取りまとめてよいのではないか。

【(2) 第2期佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する報告について】

(企画政策課) (資料2-1、2-2、3の説明)

(委員) 次期総合戦略については、我々が2年間で提言したことのかなりの部分が反映されていると思われる。

(委員) 生活者にとっては住みやすいことが重要。何よりも生活者の視点に立って次期総合戦略を取りまとめてほしい。

(事務局) 本日の議論以外で、意見等があれば2月10日(月)頃までにいただけると幸い。

(委員) 計画は作った時点から古くなる。法改正や制度改正、新たな課題等に対応して柔軟に見直してほしい。

【(3) 今後のスケジュールの確認】

次回は3月30日(月)に開催することとなった。

(以上)